

発行所

静岡県高等学校障害児学校教職員組合
静岡市葵区駿府町1-12
高教組新聞編集委員会
http://www.s-koukyousho.jp/
e-Mail info@s-koukyousho.jp
TEL (054) 254-6900
FAX (054) 254-0814
Facebook:「静岡高教組」で検索

第475号
2022年
3月19日

高教組しんぶんは組合費とカンパによって発行されており、全教職員に配布しています

あなたも高教組へ

2面 ・エバーグリーン企画「開拓という名の侵略」
・セクハラを明確に定義し、禁止する法律がない



2022年 春闘決起集会
コロナ禍だからこそ
大幅賃上げをめざそう



2月20日(日)静岡県国民春闘実行委員会は、春闘勝利を目指し、東部・中部地区の決起集会を静岡市葵区の青葉緑地で行いました。

主催者を代表して、菊きた結果だ。これらを改善させ、ケア労働者の賃上げを勝ち取る。同時に、労働者全体の賃金引上げを目指し、元気を出して運動を進めていこうとあいさつ。

春闘学習会 「社会全体の賃金を上げよう」
3月10日、藤枝地区労センタール・島田榛原地区労連が共催で春闘学習会を開催、前県評議長のお話を聞きました。

「ビッグマック」の値段、ワシントン655円、ロンドン585円、ソウル442円、北京440円だが、日本は390円。日本の



物価が安くなっているのは、賃金が下がり続けているから。経営者の中からも、経済の活性化のために賃上げが必要だという声があがっているほど。70年代には、労働組合がストライキのピケを張り、国鉄や私鉄もスト、

各地の事業所には赤旗が立っていた。春は賃上げのシーズンで、それによって景気が良くなると社会全体に共感があつた。

産業別労働組合が解体され、企業別の組合に分断され、企業の業績によって賃金が左右すると思われて賃金が左回すると思われ、国鉄や私鉄もスト、

「原水爆の被害者は私を最後にしてほしい」
3.1ビキニデー、オンラインで開催
ロシアがウクライナに侵攻し、核の危機が迫る中、

主張

2月25日付で発せられた「県立高校における1人1台端末の整備について(通知)」に、現場から多くの疑問と混乱による困惑の声が寄せられ、静岡高教組は以下の要請書を県教委に提出しました。

「県立高校における1人1台端末の整備」に疑問
また、生徒の眼、脳、筋力、感性に及ぼす影響と弊害、無線LANの電磁波過敏症などの研究と対応についても対策が十分とは言えません。ICT依存による学力の低下、心身への弊害を心配して、使用を制限、中止

理由が不明確
1、タブレット購入が必須ではなく、スマホでも可とし、無駄な出費をさせないこと。
2、スマホ等を準備できない場合や通信料の負担が心配な場合は、貸与可能なことも通知すること。

「原水爆の被害者は私を最後にしてほしい」
「原水爆の被害者は私を最後にしてほしい」と亡くなった久保山愛吉さんや核廃絶を自分の使命として語り続けた大石又七さんの意思を引き継ぎ、核兵器禁止条約の批准を日本政府に求める決意を新たにしました。

「1人1台端末の整備」に疑問
導入を画的に強制せず、各学校の判断に任せよう。
2、スマートフォンの使用を2023年以降も可とすること。
(スマホとOSがほとんど同じで、タブレットでなくてはならない

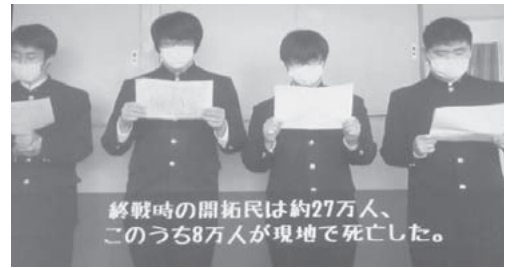
理由が不明確
3、県立高校受験生・保護者に対して、丁寧な説明をすること。
(1) タブレット購入が必須ではなく、スマホでも可とし、無駄な出費をさせないこと。
(2) スマホ等を準備できない場合や通信料の負担が心配な場合は、貸与可能なことも通知すること。

「原水爆の被害者は私を最後にしてほしい」
3.1ビキニデー、オンラインで開催
ロシアがウクライナに侵攻し、核の危機が迫る中、午前中の弘徳院での久保山愛吉さん墓前祭に続いてオンラインで集会が開かれ、侵攻に抗議するとともに核兵器のない世界の実現に向けて交流しました。

視座
先日、とある教室に行くとき、休み時間で、男子生徒が数学の問題を解こうとしていました。どうやら、定期テストの点数が低く、課題を出されたようです。コンパスを使って、円の中に正六角形を描け、という問題。その生徒は、はなからあきらめていた様子。数学は、高校時代捨てて、超文系なこの頭脳でも解けそうだったのでチャレンジしてみました。その彼とも協力して、円の中に正六角形を六個作ればいいことに気づき、半径の長さを一辺とする正三角形を作れば、あとは簡単でした。驚いたのは、その時に感じた気持ちよさ。おそらく、脳内で、報酬物質が多量に分泌されたのでしよう。ドーパミンでしようか? その感動をまた味わいたくて他の問題を解いてみよう、と提案すると、チャイムが鳴り、数学の勉強はそこでお開きになりました。毎日のように数学を勉強できる生徒が羨ましくもなりました。さて、課題を与えられた当の本人は、解いたまま。問題を一つ解いても、特に感動した様子もなし。彼には評価を気にして、赤点を回避するという重要な目的がありました。一方、こちらには目的は皆無、ただ好奇心で問題を解いただけ。改めて、外発的動機付けと内発的動機付けの違いを痛感させられました。採点をしている、点数があまりよくない時に思うのですが、生徒の努力不足の前には、生徒の興味不足なのだ、生徒の興味を持つ、説明をよく聞けば、簡単にわかるような問題ばかり不正解になっているのです。この一年を振り返ると、生徒の知的好奇心をあまり引き出すことができて、反省しきりです。さ、新年度こそ(毎年思っています)が、教職員評価制度とのたたかいは続きます。



小島太郎さんと茅原里佳子さんの演奏



終戦時の開拓民は約27万人、このうち8万人が現地で死亡した。

エバーグリーン藤枝第18回企画

「あやまちを繰り返さないために わたしには何が出来るのだろう」 佐野陽子さん ～満蒙開拓とという名の侵略～ 記録なき歴史から学ぶ

3月13日(日)藤枝市生涯学習センターで、高校生や若者を中心とするエバーグリーン藤枝が主催し、佐野陽子さんのお話を聴く会を開催しました。 厳重なコロナウイルス警戒のもとでしたが、約120人が参加しました。

蔓延防止等重点措置の延長により、司会や朗読劇の準備をしてきた高校生が入場が制限され、急遽、録画の上映による参加となりましたが、若者たちが中心に会を進行しました。 現在、ロシアがウクライナに侵攻し、子どもを含めた多くの市民が命を奪われ、数百万の人々が家族や家、故郷を失って国外へ避難を余儀なくされています。 佐野さんは「自身が経験した二度と見たくない現実を再び見るようになるうとは思わなかった」とお話を始めました。

開拓団として満州へ アジア太平洋戦争も終結に近い1945年4月末、満州に行けば空襲もなく腹いっぱい食べられると京都「平安郷開拓団」として、当時8歳の陽子さんの家族6人は満州に渡ります。 満州に到着すると、日本人の養子に育てられ、生活は豊かになりました。 しかし、日本が敗戦すると、開拓団の日本人たちは、故郷へ送られるか、あるいは現地に残るかという選択を迫られます。 陽子さんは中国に

を終わられました。 戦争は常に弱い立場の人たちの命と生活を奪います。 一体、何が戦争を生むのか。 時の政府の責任を憎むこともなく、今もなお、合唱や平和行進を続け、平和を語り続ける佐野陽子さんに学ぶことは大きい。 このお話を未来に継ぐ大切さを思い出しました。 (山口良二)



「育兒短時間勤務制度」が「部分休業」について、実際に利用した人のお話を聞き、考えることができました。 自分が休むことによる周りへのしわ寄せを心配し、制度の利用をあきらめてしまいがちですが、宝物である子どもをみんなが歓迎し、子育て中の親をみるか悩んでいたが、今回のカフェで、制度の活用は権利だと考え方が変わった」と感想が寄せられました。 アンケートには「子育て中は職場から遠のき、孤独になりがちだが、カフェに参加し、他にも様々に悩んでいる方の話を聞いて、自分だけではないんだと気持ちが悪くなった」との声が寄せられました。 改めて、子育て応援カフェの意義を実感しました。 制度について詳しく知ることは、自分や家族の生活を大切にし、生き生きと

「育兒短時間勤務制度」が「部分休業」について、実際に利用した人のお話を聞き、考えることができました。 自分が休むことによる周りへのしわ寄せを心配し、制度の利用をあきらめてしまいがちですが、宝物である子どもをみんなが歓迎し、子育て中の親をみるか悩んでいたが、今回のカフェで、制度の活用は権利だと考え方が変わった」と感想が寄せられました。 アンケートには「子育て中は職場から遠のき、孤独になりがちだが、カフェに参加し、他にも様々に悩んでいる方の話を聞いて、自分だけではないんだと気持ちが悪くなった」との声が寄せられました。 改めて、子育て応援カフェの意義を実感しました。 制度について詳しく知ることは、自分や家族の生活を大切にし、生き生きと

働くことにつながります。 少しずつでも学習の輪を広げ、みんなが自分らしい働き方ができるようにしたいものです。 また制度の周知だけでなく、より使いやすく実用 (富士特支 加藤奈央)



性のある制度にしていくために声を届けていくことも力を入れたと感じました。 次回は夏に開催を予定しています。 皆さんの御参加お待ちしております。 (富士特支 加藤奈央)

3月12日に8回目となる「子育て応援カフェ」をオンラインで開催し、9人が参加しました。 今回は、「育兒短時間勤務制度」が「部分休業」について、実際に利用した人のお話を聞き、考えることができました。 自分が休むことによる周りへのしわ寄せを心配し、制度の利用をあきらめてしまいがちですが、宝物である子どもをみんなが歓迎し、子育て中の親をみるか悩んでいたが、今回のカフェで、制度の活用は権利だと考え方が変わった」と感想が寄せられました。 アンケートには「子育て中は職場から遠のき、孤独になりがちだが、カフェに参加し、他にも様々に悩んでいる方の話を聞いて、自分だけではないんだと気持ちが悪くなった」との声が寄せられました。 改めて、子育て応援カフェの意義を実感しました。 制度について詳しく知ることは、自分や家族の生活を大切にし、生き生きと

度にならなければ、私たち誰もが憩える「日だまり」ができます。 この日、記念に戴いたベンは、なんと私のネーム入り。 日だまりをつくるスタッフの温もりが細部に宿っているように思えました。 (鈴木 保則) 「昔腰掛、今命懸け」 あつという間の33年でした。 教員になりたての頃はイヤでイヤで仕方なく、来年少さやめようと思つていました。 でも今では、「昔腰掛、今命懸け」というサラリーマン川柳の境地で、定年退職するどころか、再任用フルを希望して職場に残ることにしました。 定年直前に1年半ほど病休をとりました。 もう教壇に立てないかもしれないと思つたとき、もう一度、教壇に立ちたいと思うようになり、介護休暇を取得することになりました。 後は納得できる授業をして、本当に去る日を迎えたいと思います。 (袴田康子)

「セクハラ大国日本」なのはなぜか② セクシユアル・ハラズメントを明確に定義し、禁止する法律がない

現状では「男女雇用機会均等法」11条で事業者が雇用管理上の義務としてセクシユアル・ハラズメントを防止せよというだけです。 罰則規定は防止義務を怠った場合の事業者名公表だけでないに等しいのです。 セクシユアル・ハラズメントそのものを禁止する法律がない (レイブドラッグを盛られたと

いう主張は立証できず、損害賠償額は332万円と低額でした。 さらに伊藤さんの著書や会見などで名誉を傷つけられたとする元TBS記者の山口敬之氏の主張の一部も認められ、伊藤さんに55万円の賠償支払いを命じています。 1996年に米国三菱自動車製造会社を女性従業員たちが社内でのセクシユアル・ハラズメントを放置してきたと集団訴訟し、49億円の支払いで和解したという事実を思い出すとあまりに少額です。

性被害は恥ずべきことという意識を支える 明治の法律がそのまま 性被害は恥ずべきことという意識を支える 明治の法律がそのまま 性被害は恥ずべきことという意識を支える 明治の法律がそのまま

性のある制度にしていくために声を届けていくことも力を入れたと感じました。 次回は夏に開催を予定しています。 皆さんの御参加お待ちしております。 (富士特支 加藤奈央)